

令和 7 年度 尼崎観光物産意見交換会 会議録(要旨)

日時:令和 8 年 3 月 4 日(水) 18:00~19:00

場所:役場 2 階 会議室

出席者:

商工会(特産品部会):寺師、武宮、栄、吉田、柳谷

海力:永田

奄美せとうち地域公社:植村

紬組合:栄、朝谷

あま海:桑山

町長:鎌田

農林課:太原、池山、泊

商工交通課:竹畑

総務企画課:坂本

水産観光課:保島、川畑、手嶋、米田、山元

(※資料記載の参加者名を掲載)

議事要旨

1. 開会あいさつ

物産展開催への協力に対する感謝が述べられた。

当日は天候にも恵まれ大盛況であったが、次年度に向けて良かった点や改善すべき点について意見交換をお願いしたい旨の挨拶があった。

2. 事務局からの報告事項

・参加者名簿について

・当初の 36 名から 35 名に変更となった。

・収支報告について

・各事業所の売上一覧および暫定の収支報告が行われた(関西瀬戸内会からの売り上げ報告待ちのため暫定値)。

・総支出見込みは 1,713,951 円(予算内)、収入見込みは 573,673 円。

・今年度実施された地域産業振興基金協会からの助成金(12 万円)は、今年度限りのものである旨の説明があった。

・荷物発送について

・クール便(冷蔵・冷凍)の数量に変更が生じた場合は、前日であっても必ず事務局へ連絡するよう周知された。

・会場レイアウトについて

・テントの追加や事業所単位での配置変更は可能である。

・ただし、保健所の営業許可(令和 9 年度まで有効)の条件を満たすため、テントの脚を繋げて設置する必要があり、全体の配置を大きく変更することは困難である旨が説明された。

3. 意見交換(主な意見・要望等)

【会場設営・運営について】

レイアウトの工夫:各ブースが見えやすくなるよう、案内や表示(のぼり旗など)の工夫が必要との意見があった。

混雑時の誘導:販売開始前にお客様が並ぶ際の動線確保について課題が挙げられた。整列のためのベルトパーテーションや誘導ラインの設置についての提案があった。

販売時間の統一:トラブル防止のため、チラシ等で告知している販売開始時間は全店舗で遵守し、統一すべきとの認識で一致した。

クール便の受け渡し:初日のクール便到着後、各店舗への引き渡しをより迅速に行ってほしいとの要望があった。

【販売・接客について】

決済方法の多様化:顧客からクレジットカードや電子決済の要望があった。手数料の課題はあるものの、利便性向上や売上増加の観点から、各事業所での導入を検討する価値があるとの意見が出された。

販売促進の工夫:買い物カゴ(色付きなど)を導入することで、未会計者の区別がしやすくなり、また購入点数の増加に繋がるのではないかと提案があった。

客足と天候の影響:物価高の影響か購買にはやや慎重な傾向が見られた。また、商品の売れ行き(温かいもの・冷たいもの)は天候に大きく左右されることが共有された。

食品衛生の徹底:試食の提供については、事前の取り決め通り食品衛生上のガイドラインを遵守するよう徹底が求められた。

【会場環境・設備について】

洗い場の見直し:洗い場が目立つ位置にあったため、次回はテント裏へ移動させ、パーテーション等で目隠しを行う方向で検討することとなった。

ゴミの分別・処理:ゴミ箱(ワゴン)の設置について、一般客による未分別ゴミや持ち込みゴミの投棄を防ぐため、表示の工夫や設置の見直しが必要との意見があった。

飲食スペースの管理:物産展以外で購入した商品の持ち込み飲食が見受けられたため、次回は注意書きの掲示やアナウンスによる周知を行うこととなった。また、スペースの拡張や長時間の占有・酔客への対策も今後の課題として挙げられた。

【ステージイベントについて】

ステージの演目について、瀬戸内町にゆかりのある内容を増やしてほしいとの要望があった。本件については、主催である関西瀬戸内会へ意見として共有することとなった。

4. 閉会あいさつ

町長より、2 年ぶりの開催が大盛況に終わり、町の PR に大きく貢献できたことへの感謝が述べられた。

来年度以降の継続的な開催に向けて、引き続き関係各位の協力をお願いする旨の挨拶があり、閉会となった。